

3度目の関西王者

全勝優勝

ボクシング部

7年ぶりリーグ制覇

関西学生リーグ戦で大商大ボクシング部は、7年ぶり3度目の優勝を飾った。今年のチームは「限界に挑戦」を合言葉に、優勝を目指した。リーグ戦でリングに上がるのは9人だが、監督をはじめとするチーム全員の思いを背負って戦ったからこそ、全勝優勝を成し遂げることができた。次なる舞台は、全日本大学王座決定戦。関西勢の底力を見せつけ、日本一を奪還だ！

MVP 福森



関西に敵なし

開幕戦は大商大に完勝し好発進すると、同志社大学、龍谷大学、関西学院大学、龍谷大学、関西学院大学戦でも実力の差を見せつけ、4戦全勝で最終戦を迎えた。最終戦の相手は、昨年のリーグ王者・関西大学。関西大もここまで4戦全勝で、全勝対決の優勝決定戦となった。関西大には昨年のリーグ戦で惨敗し、準優勝という悔しい思いをしていた。宿敵・関西大との試合に臨むに当たって、主将・福森翔太(経営4年・松山聖陵高)は「昨年が甘くみていたところがあって足元をすくわれた。今年は油断せずにチームで団結して挑んだ」と話した。

1戦目のライトフライ級・京口敏人(経済3年・伯太高)は、開始のコンダが鳴ると一方的に相手を攻め続けて、1ラウンドにダウンを3回奪い、圧巻の1ラウンドTKO勝ち。ポイントも先取りし、大商大の必勝ムードを作った。2戦目のフライ級・山本樹喜也(公営1年・星林高)も、相手を上手く交わしながら攻め続け判定勝ち。しかし、連覇のかかる関西大も意地を見せ、3戦目と4戦目のバンタム級を立て続けに取り返され、ポイントは2-2で振り出しに戻った。5戦目のライト級で昨年度からリーグ戦無敗の田中洗太郎(公営2年・菟道高)が登壇した。「集中して勝つことだけを考えた。今年は油断せずに、田中が一方的に攻めて判定勝ちし、相手の流れを止めた。6戦目のライト級・中谷夏樹(経済2年・京都府立総合高)は、1ラウンドでダウンを奪うと、8戦目のミドル級・山田大樹(公営3年・津山東



迫あるプレーで勝利した。これでポイントを4とし、関西大を追いつめた。しかし、7戦目のライトウェルター級・前田絃希(公営4年・神戸第一高)は、ここまでリーグ戦全勝でチームに貢献していたが、関西大に手数で押し切られ判定負けし、またもポイントを奪われた。2戦を残してポイントは4-3。関西王者の称号を自らの手で勝ち取るべく、8戦目のウェルター級で福森がリングに上がった。1ラウンド目は、一方的に攻撃し相手を圧倒し、主将の手で優勝を決めた。福森は「緊張していつも通り動けなかったが、みんなの応援が力になった」と語った。

最終戦のダブル主役は、連敗を止めた田中と優勝を決めた福森だろう。優勝後、福森は「実感は湧かなかったが、とにかくうれしかった。毎日の積み重ねが結果に出た。自分を信じて使ってくれた監督には感謝している」と打ち明けた。さらに、福森は最優秀選手賞と階級賞に、田中は階級賞に選ばれた。田中は「階級賞もうれしかったが、優勝の方が断然うれしかった」と笑った。

王者の挑戦 関西王者となった大商大は、12月に行われる全日本大学ボクシング王座決定戦で関東王者の日本大学へ挑む。現在、王座決定戦では21年連続で関東勢が日本一を独占している。福森は決

Table with 11 columns: 順位, 1部リーグ, 大商大, 関西大, 同志社大, 龍谷大, 関西学院大, 大阪大, 勝, 負, 分, 勝ち点, TKO. It shows the results of the 68th Kansai University Student Boxing League.

ダブル主役

戦に向けて今年の大商大は、関東の大学に引けを取らないようなチームだということを証明したい。そのためには、今まで以上に練習をしなければならぬ」と気を引き締めた。

選手も頑張ったが、その陰にはマネージャーの支えがあった。選手を見守ってきたマネージャーの松浦菜々(経済4年・能登川高)は、優勝を決

階級賞

「第69回国民体育大会兵庫県代表選考会」 成年の部 ライトウェルター級 優勝 前田 絃希(公営4年・神戸第一高)

「大阪府民祭兼第69回国民体育大会大阪府選考会」 成年の部 ライトフライ級 優勝 京口 敏人(経済3年・伯太高) ライト級 2回戦敗退 藤村 勇馬(公営4年・長尾谷高)

王者の挑戦

「第68回関西学生ボクシングリーグ戦」 1部 優勝 福森 翔太(経営4年・松山聖陵高) 最優秀選手賞 階級賞(ライト級) 田中 洗太郎(公営2年・菟道高) 階級賞(ウェルター級) 福森 翔太(経営4年・松山聖陵高)

「第69回国民体育大会京都府代表選考会 兼第84回全日本アマチュアボクシング選手権大会京都府予選」 成年の部 ライト級 優勝 田中 洗太郎(公営2年・菟道高)



- 「第69回国民体育大会兵庫県代表選考会」 成年の部 ライトウェルター級 優勝 前田 絃希(公営4年・神戸第一高)
- 「大阪府民祭兼第69回国民体育大会大阪府選考会」 成年の部 ライトフライ級 優勝 京口 敏人(経済3年・伯太高) ライト級 2回戦敗退 藤村 勇馬(公営4年・長尾谷高)
- 「第68回関西学生ボクシングリーグ戦」 1部 優勝 福森 翔太(経営4年・松山聖陵高) 最優秀選手賞 階級賞(ライト級) 田中 洗太郎(公営2年・菟道高) 階級賞(ウェルター級) 福森 翔太(経営4年・松山聖陵高)
- 「第69回国民体育大会京都府代表選考会 兼第84回全日本アマチュアボクシング選手権大会京都府予選」 成年の部 ライト級 優勝 田中 洗太郎(公営2年・菟道高)

※TKO(Technical Knockout) レフェリーやドクターが試合続行不可能と判断して、勝敗が決まること。一方のボクサーが負傷のため、試合を続けることができなくなったり、一方的な試合のため、レフェリーがこれ以上続けることは危険だと判断した場合、TKOとなる。

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

意地の一打で 秋こそ1部へ 入替戦敗れる



関西学生卓球春季リーグ戦 5月4日~5月17日 近畿大学記念会館他

●4-3 ●4-2 ●4-1 ●1-4 ●2-4 ●2-4

●不戦勝 ●2-0 ●0-0 ●0-0 ●0-0 ●2-0

●第1日目 vs大阪経済大学 ●第2日目 vs天理大学 ●第3日目 vs大阪大学 ●第4日目 vs甲南大学 ●第5日目 vs関西大学 ●第6日目 vs大阪経済法科大学 ●決勝戦 vs大阪経済法科大学

「第56回関西学生新人卓球大会」 男子団体 ベスト16(大商大チーム)

「関西学生卓球春季リーグ戦」 男子2部 準優勝

「第83回関西学生卓球選手権大会」 男子ダブルス ベスト64 吉井 雄大(高4年・和歌山工業高)・打越 史彦(高4年・金沢学院東高) ベスト64 橋本 拓也(高3年・徳島高)・武市 拓也(高3年・関西高) ベスト64 吉元 祐太(高3年・大阪桐蔭高)・月待 輝海(高1年・大阪桐蔭高) 男子シングルス ベスト64 打越 史彦(高4年・金沢学院東高)

復活論 指導者しか選手を 変えることはできない

植田 辰哉(ウエタタツヤ)

「今回の優勝」 大阪経済大学 特任教授 高木 隆雄(高木 隆雄) 日本バレーボール協会 男子強化部副部長(高木 隆雄) 大阪経済大学バレーボール部監督(高木 隆雄) 大阪経済大学バレーボール部監督(高木 隆雄)

「指導者しか選手を変えられない」という言葉が、指導者や選手に与える影響は大きい。指導者は選手を育て、選手は指導者の指示に従ってプレーする。指導者が選手を育てることは、選手が活躍するための重要な役割である。指導者は選手を育て、選手は指導者の指示に従ってプレーする。指導者が選手を育てることは、選手が活躍するための重要な役割である。

卓球部

関西学生卓球春季リーグ戦、天理大学に金星を上げ、3連勝と波に乗った大商卓球部だが、甲南大学戦で黒星が付くと1部昇格が遠のいた。最終日、阪南大学戦に勝利し、2位に付け入替戦に挑むことになった。

入替戦の相手は、大阪経済法科大学・大商大・同スタイルのダブルエースを擁するチーム。2部シングルスでまさかの黒星を喫してしまっただけで、入替戦は、秋こそ1部へ入替戦を争うことになる。入替戦は、秋こそ1部へ入替戦を争うことになる。

悔しさ残るも大収穫 リーグ戦2部3位

関西学生卓球春季リーグ戦、2部3位の成績を残した。悔しさは残るが、選手たちは大収穫を得た。選手たちは大収穫を得た。

ソフトテニス部

関西学生ソフトテニス春季リーグ戦、2部3位の成績を残した。選手たちは悔しさを感じながらも、大収穫を得た。

ライフル射撃部チアリーディング部

ライフル射撃部、チアリーディング部の活動について紹介。選手たちは練習を通じて、チームワークを高め、自己成長を遂げている。

カヌー部

カヌー部の活動について紹介。選手たちは練習を通じて、チームワークを高め、自己成長を遂げている。

期待の新人

休部中だったクラブや少人数のクラブに、新入生が入部。これらに期待を寄せている。期待の新人が活躍することを期待している。

応援団

応援団の活動について紹介。選手たちは練習を通じて、チームワークを高め、自己成長を遂げている。

その他のクラブ 主な試合結果

(2014年4月1日~7月13日)

■カヌー部
「大阪府民体育大会」 男子K-2 500m 準優勝 長谷川 大介(公営1年)他
「第44回大阪学生カヌー選手権大会」 男子K-1 500m 9位 長谷川 大介(公営1年)

■硬式庭球部
「関西学生春季テニストーナメント予選」 男子シングルス 2回戦棄権 木越 祐希(高3年)
「関西学生チャレンジテニストーナメント」 男子シングルス 3回戦棄権 木越 祐希(高3年) 2回戦棄権 橋本 拓也(高3年)

■柔道部
「第46回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会大阪府予選会」 男子73kg級 3回戦敗退 今川 吉輝(公営2年) 男子73kg級 3回戦敗退 瀬川 将也(経済1年) 男子73kg級 2回戦敗退 濱邊 拓弥(公営2年) 男子81kg級 2回戦敗退 西中(公営2年) 男子81kg級 2回戦敗退 森 平平(公営1年)

■水泳競技部
「第2回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会」 男子100m平泳ぎ 予選56位 吉田 翔太(高1年) 男子100mフライング 予選35位 窪田 匡貴(経済4年)

「第13回関西学生夏季公認記録会」 男子200m平泳ぎ 54位 吉田 翔太(高1年) 男子100m平泳ぎ 53位 明神 佳弘(経済4年) 男子200mフライング 34位 窪田 匡貴(経済4年) 男子400m個人メドレー 33位 榊 亮南(高4年) 男子400mフリー 23位 川口 輝(経済1年) 窪田 匡貴(経済4年) 吉田 翔太(高1年) 榊 亮南(高4年)

硬式野球部

関西地区大学準硬式野球トーナメント大会、5月4日~6月14日。伊丹スポーツセンター野球場他

「阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦」 準優勝 最優秀投手 越智 俊貴(高2年・西条高) 最優秀投手 越智 俊貴(高2年・西条高) ベストナイン(投手) 越智 俊貴(高2年・西条高) ベストナイン(一塁手) 勝浦 誠(公営4年・神海学園神高) ベストナイン(二塁手) 越智 俊貴(高2年・西条高) ベストナイン(外野手) 辻井 翔太(経済4年・京都外大西高)

「関西地区大学準硬式野球トーナメント大会」 準決勝敗退



狙うは優勝!

関西地区大学準硬式野球トーナメント大会、5月4日~6月14日。伊丹スポーツセンター野球場他

硬式野球部

関西地区大学準硬式野球トーナメント大会、5月4日~6月14日。伊丹スポーツセンター野球場他

2リーグ戦 連続Vならず

関西地区大学準硬式野球トーナメント大会、5月4日~6月14日。伊丹スポーツセンター野球場他

関西六大学野球春季リーグ戦

4月5日~5月25日 南浦中央野球場他

「関西六大学野球春季リーグ戦」 3位 池田 侑矢(公営2年・広陵高) 日下部 光(経営1年・福知山成美高) 池田 侑矢(公営2年・広陵高) 平古場貴(新人賞) 日下部 光(経営1年・福知山成美高)

「第21回大学野球関西オールスター5-リーグ対抗戦」 3位(関西六大学選抜チーム) 選抜メンバー(投手) 金子 文(公営4年・大商大) 選抜メンバー(内野手) 瀨上 真(公営4年・広陵高) 吉野 亮太(経済3年・広陵高) 池田 侑矢(公営2年・広陵高) 選抜メンバー(内野手) 坂田 一平(公営1年・広陵高) 選抜メンバー(内野手) 榎本 和輝(公営1年・京都府立高)

全日本選抜

清瀬杯出場

46越智 34勝浦 10小林



自信につながる 関西3位

演武競技男子対武器の部

自信につながる 関西3位

演武競技男子対武器の部

演武競技男子対武器の部

前田 中嶋

体育会本部 NEWS

6月に体育会系クラブの新人部員を対象に、体育会本部主催のフレッシュマン研修会を行いました。研修会では、先輩部員から指導を受けて、チームワークを高め、自己成長を遂げることができました。

Twitter アカウントフォローしてね

大阪商業大学 体育会本部 @Taikukaihonbu

「第43回関西学生サッカー選手権大会」 兼第38回総理大臣杯全日本サッカートーナメント関西予選 ベスト32

「第43回関西学生夏季カヌー選手権大会」 兼第38回総理大臣杯全日本カヌー選手権大会

「第43回関西学生夏季カヌー選手権大会」 兼第38回総理大臣杯全日本カヌー選手権大会

チームプレーの結晶!

試合に勝つにはチーム力や仲の良さが大事だと考える主将の西尾勇輝(経済4年・大商大堺高)は、試合の出番を迎えた選手には「絶対にいける、好きにやってこい」と背中を押し、戦い終えた選手には「よく頑張った」と必ず声を掛ける。そんなチーム力を大事にしている大商大日本拳法部が西日本学生大会と全国大学選抜選手権で輝くチームプレーを見せた。

西日本男子団体準V

全国選抜男子団体3位

日本拳法部

雪辱果たす

4月末に行われた西日本学生拳法選手権大会。本大会は団体戦の7人勝ち抜き戦である。大商大は順調に予選リーグを突破し、準決勝に駒を進めた。準決勝の相手は、昨年の全日本学生拳法選手権大会で敗れた関西大学だ。強敵だけあってなかなか勝ち切れない流れを断ち切ったのは、三将・矢田秀人(商3年・東大阪大柏原高)である。三鋒、中堅を連続で倒した相手に気迫溢れるプレーで勝利し、さらに1人勝ち抜いた。しかし、関西大4人を残して力尽き、後に控える副将・西尾と大将・江口昌吾(経済4年・大商大堺高)に勝負の行方は託された。後輩の健闘に奮い立った西尾と江口は、圧倒的な強さを見せ、関西大に雪辱を果たした。

出るかチーム力

西日本大会から1カ月後、日本拳法全国大学選抜選手権が行われた。本大会は団体戦の5人制3分間3本勝負。1回戦、2回戦と順調に勝ち進んだ。3回戦の相手は、明治大学。大会に臨む前から明治大戦が山場になると考えていた。ここに照準を絞っていただけに集中して試合に挑んだ。東の強豪相手に苦戦を強いられしたが、チーム力を発揮し、勝ち上がった。続くは準決勝・立命館大学戦。強豪を倒した勢いで立ち向かったが、チーム一丸となつてつかなだ先の勝利が緩んだのか、立命館大にあっさり敗れ、切替えて挑んだ3位決定戦では、持ち前のチー

僅差の準優勝

優勝まであと一勝。残る相手は絶対的な強さを誇る関西学院大学。会場にいる誰もが注目する中、決勝戦が始まった。先鋒、次鋒が倒され関西学院大にリードされる中、勝利への執念を見せたのが三鋒・西野貴士(公営4

最終章に向けて

チームの中心として戦い続ける西尾や江口の学生最後の試合となる全日本学生拳法選手権大会が11月に控えている。目指すはむろん優勝。なか



技能賞 西尾

西野

第18回西日本学生拳法選手権大会 4月27日 大阪市中央体育館

日本拳法第27回全国大学選抜選手権大会 6月1日 早稲田大学記念会堂



大阪商業大学

西日本男子団体組手3位 攻めの姿勢崩さず

「第18回西日本学生拳法選手権大会」 男子団体1部 準優勝 技能賞 西尾 勇輝(経済4年・大商大堺高)	「第15回西日本学生拳法個人選手権大会」 男子参段以上の部 3回戦敗退 西尾 勇輝(経済4年・大商大堺高) 2回戦敗退 西野 貴士(公営4年・今宮工科高) 2回戦敗退 矢田 秀人(商3年・東大阪大柏原高)
「日本拳法第27回全国大学選抜選手権大会」 男子団体 3位 敢闘賞 西尾 勇輝(経済4年・大商大堺高)	男子武段の部 3回戦敗退 井上 直也(公営2年・青翔高) 男子初段の部 3回戦敗退 河津 健太(商4年・阿蘇中央高阿蘇清峰校舎)



優秀選手賞 川島

「第48回関西学生空手道個人選手権大会」 組手競技 男子-67kg級 ベスト8 小山 翔馬(公営4年・東洋大附属牛久高) 男子+75kg級 ベスト8 溝口 弘樹(商3年・東大阪大柏原高) 3回戦敗退 川島 健吾(経営3年・洛陽総合高) 男子-75kg級 2回戦敗退 首木 淳平(経営4年・東灘高) 男子-75kg級 2回戦敗退 古川 涼太(公営3年・高水高)

「第52回西日本大学空手道選手権大会」 男子団体組手 3位 優秀選手賞 川島 健吾(経営3年・洛陽総合高)	「第58回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦」 男子個人組手競技 4回戦敗退 高井 魁人(経営3年・神戸第一高) 3回戦敗退 溝口 弘樹(商3年・東大阪大柏原高) 東西対抗戦男子西軍選出メンバー
---	--

5月に行われた西日本大学空手道選手権大会において、大商大空手道部は男子団体組手3位の成績を収めた。大会の正念場となったのは、準々決勝、同志社大学との対戦。先鋒は敗れたが、次鋒が8-10と完勝で中堅へつなぎ、中堅も7-6と粘り勝ちした。しかし、再び副将が敗れ、決着は大将に委ねられた。大将を務めたのは、川島健吾(経営3年・洛陽総合高)だ。今大会で初の大将を任せられた川島だが、プレッシャーのかかる場面で強さを見せ、8-12で準決勝へと駒を進めた。

準決勝の京都産業大学との対戦では、先鋒、次鋒と連敗し、自分たちの流れに持つていくことができなかった。そして、副将戦、大将戦を戦わずして敗退となった。敗退を主将・小山翔馬(公営4年・東洋大附属牛久高)は、実力は大差なかったが、小さいミスが結果的に大きく影響した。落ち着いて自分たちで試合作りをしていたら良かったと分析した。一方で今大会、披露された1年生に初抜擢された1年生に初めて団体戦にも臨むことなく、勝ち星を挙げ



第52回西日本大学空手道選手権大会 5月25日 近畿大学記念体育館

我楽多

▼体育会本部の活動として、体育会系クラブの応援に行くことが増えました。試合で懸命に戦っているクラブ生にいつも感動しています。伝えたいことを文章にするのは難しいですが、商大スポーツを通して多くの方に自分が感じたものを具体的に伝えられるよう、これからも取り組んでいきたいです。(根本)

▼2回目の一面を書いてあらためて難しいと思いましたが、あまりルールを知らない、取材が難しい、取材に行っていないクラブにこれか行っても、いろいろなるスポーツを知りたいです。(江見)

▼今回担当する記事が多く、少しバタバタしてしまいましたが、前回より、より多くのクラブの応援に行けて良かったです。撮影しながら一緒に応援したり、ルールを知らなかったスポーツでも楽しく応援できました。クラブ生にも直接会って取材でき、とてもいい経験させてもらいました。(高本)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校